

第3号

発行日 2001年11月
編集 北海道音響事業協会
発行人 理事長 中根慶之
事務局 札幌市中央区北7条
西15丁目28番10
加賀芳祐

o t o g o t o

コンサート探訪

コンサート探訪について

- ・ 会員の皆さんが一番ほしがっているコンサートの情報をこれからも掲載していきます。
- ・ 会員の技術的な情報として、ご活用していただければと思います。
- ・ 詳細は企業秘密もあるかと思いますが、直接情報交換をしてください。
- ・ 会員の皆さんからもコンサート、イベントのレポートがありましたら、事務局までご一報願います。

目次:

会員紹介	2
赤レンガ	2
サウンドビジネスフェア ご案内	3
経営幹部研修会レポート	4
情報コーナー	4
編集後記	4

ここしばらくコンサート会場に出かけることが無かったのですが、今年は札幌ドームのオープン、石狩でのグレーエキスポなど大規模なイベントやコンサートが多くあり、そのなかの一つ8月18, 19日の2日間石狩で行われたライジングサンロックフェスティバルを覗いてきましたので下手な写真もまじえて紹介します。



SR担当会社はコンサート関連の仕事が多く、当協会理事長が社長の(株)ウィークエンドです。お邪魔したのは、前日の仕込み日だったので、とりたててリハーサルがあったわけではなく、終始、仕込みチェックに追われていましたが、中堅、若手スタッフが各自各ポジションの中での的確に仕事をしているのは、さすがプロと感じました。

今年3回目、前回よりは多少パワーセットが減ったということでしたが、それでもこれだけの量をセットするのと、プランを考えるのはなかなか大変な作業です。

あまり夏らしさを感じさせなかった年でしたが、それでも会場が海岸から近いこともあり、海からの風を感じさせる夏らしい良い一日でした。



本番はどうしたの、と言われそうですが、一日中外にいる事になれていないせいもあり今年仕込みで失礼いたします。

音響スタッフ 山本 弘

ヤマハのサービスをしていた「川島」といえば分かる人もいるかもしれませんがね

現在はヤマハ以外にローランド、コルグ、E/Vと契約し幅広くメンテナンスしています。冬の間に機材整備をお考えの方、いかがでしょうか。

顔つきが一般人と違う（この業界はそんな人が多いですが）ので、第一印象悪いですが、話すと普通です。

社 名有限会社ケイズ・サウンド・クリエイト

住 所 〒007-0847 札幌市東区北47条東15丁目6-1

電 話 011-748-3855 F A X 011-748-3856

URL: <http://www.ks-sound-create.com/>

（有）ケイズサウンドクリエイトの川島です。

「K's」のオレンジロゴを製作してから1年半がすぎました。ひよんなきっかけから、当協会の発足時より関わらせていただいています。

簡単に略歴を記載させていただきます。1991年3月設立、ヤマハサービスセンター内に事務所を置き、業務契約。

メンテナンスを中心に、音響業務にも少しずつ手をかけてきました。2000年2月に現事務所に移転、同年4月より音響業務を中心に、メンテナンスも契約メーカーを増やし継続、古物商取得により、中古楽器、音響機材等を再販営業しています。営業内容の詳細はホームページを覗いてください。



現在音響関係は、小中規模のイベントを中心とした業務ですが、今年は何回かスピーカーのフライングを、数社とジョイントでトライさせていただきました。

まだまだ勉強することがたくさんあり、協会の皆様との連携、そして技術的なことも含めた情報交換、それらを糧にしてスタッフ一同がんばっています。

マップを載せましたので、気軽にコーヒーでもどうぞ。



パフォーマンスin道庁

道庁赤レンガ庁舎ライトアップ
「パフォーマンスin道庁」を終えて

去る11月5日～9日、5日間に渡り、社団法人日本照明家協会による「ライティングパフォーマンス 21世紀・北の光」と銘打って道庁赤レンガ庁舎のライトアップ「パフォーマンスin道庁」が行われました。

当協会も協賛ということで、毎日各社1名ずつオペレーターが交代で期間中の音響を担当し、会場に見に来ていた観光客からも大変好評でした。

また7日には、日本舞台音響事業協同組合の理事の皆さんにもご鑑賞いただき、5日間に渡る本番も無事に終了いたしました。

使用機材は、(株)パワーハウスエージェンシーのPA



システムを使い、スピーカー メイヤーサウンドUPA-1C×2+650R2×1、パライコ ATL DCP-10×1、グライコ クラーク テクニック DN3600×1、チャンデバ ヤマハ D2040×1 そして今回のミキサー卓を(株)楽器音響のご協力

で、「マイダス ベニス」を提供していただいたのオペレートとなりました。ベニスについては各社注目しており、評価も高かったようです。音源についてはシーケンスソフト「ロジックオーディオ」から出力をもらいました。

このような形で当協会会員並びに関係各社が集まり、協同で取り組むことによって技術の向上、情報交換の場とし、更に一般の方にも「音響」という業務について広く知っていただければと思います。

最後にご協力いただいた各社に心からお礼申し上げます。

(株)パワーハウスエージェンシー 千葉 論

INFORMATION

Sound Business Fair in Hokkaido 2001

北海道音響事業協会主催「第3回プロ音響機器展&セミナー」

恒例となりました「プロ音響機器展&セミナー」を今年も関係各位のご賛同、ご協力を得て下記の内容で開催する運びとなりました。

21世紀を迎え不安定な世情にイベント業界、音響業界もいろんな意味で現実を正視しなくては行けないのかも知れません。

協会としてもそんな中で、皆さんに将来に向けての話題と情報を各メーカーさんとのタイアップで開催できること、そしてこの機器展が少しでもお役に立ち、また参考になればと考えております。今年はセミナーの内容が皆さんの興味を引く内容だと自負しています。

ぜひこの時期に会員の皆様はもちろんですが、会員以外の方々、また興味をお持ちの学生諸子に一声をかけていただき、広く多くのご来場により、出展各社様を巻き込んだ情報交換の場として、この機器展を意義あるものにしたいと思っています。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

日	時	平成13年11月27日(火) 13:00~18:00	主 催	北海道音響事業協会
		平成13年11月28日(水) 10:00~17:00	協 賛	北海道公立文化施設協議会 日本音響家協会北海道支部 日本舞台音響事業協同組合 日本舞台音響家協会
会 場		札幌市生涯学習センター(ちえりあ) 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10	事務局	TEL(011)643-0292 FAX(011)644-9721
入 場 料		無料		

プログラム

機器展示

(ホール、ロビー、演劇スタジオ)

11月27日(火) 13:00~18:00

11月28日(水) 10:00~17:00

出展者一覧(順不同)

ローランド(株)

ベステックオーディオ(株)

ヤマハ(株)

(株)タムラ製作所

(株)エレクトリ

(株)ヘビームーン

(株)マクロスジャパン

ポーズ(株)

オタリテック(株)

松田通商(株)

(株)オーディオテクニカ

(株)イーブイアイオーディオジャパン

不二音響(株)

ゼネラル通商(株)

ヒビノ(株)

スチューダージャパン(株)

(株)エフ・ピー・エス

ティアック(株)

技術セミナー(ホール)

セミナー1 11月27日(火) 14:00~17:00

テーマ 「インイヤーマニターの概況と体験試聴」

講師 河端 剛(ゼネラル通商株式会社)

セミナー2 11月28日(水) 14:00~17:00

A. テーマ 「ワイヤレスマイクロフォンの現状と今後の動向」 14:00~15:00

講師 小諸 浩和(株式会社オーディオテクニカ)

B. 「ワイヤレス機器のデモンストレーション」 15:00~15:30

1. ワイヤレスインカム/株式会社タムラ製作所

2. 携帯電話抑止装置/株式会社マクロスジャパン

C. 「ワイヤレスマイクロフォン及びワイヤレスシステムについて雑談会」 16:00~17:00

進行 加賀 芳弘(北海道音響事業協会)

スタジオ実験室 音楽スタジオに仮設コントロールルームを設けます。

経営幹部研修会

去る11月7、8両日において、日本舞台音響事業協同組合主催による「経営幹部集会」が実施され、当協会からも理事の加賀事務局長、組合員の中根理事長はじめ、数社に参加いただきました。非常に充実した内容でしたので、紹介いたします。

初日は(株)ビジネスコンサルタントの東 三郎講師による「変化する中小企業の経営感覚」と堅いお題目でしたが、流石の話術で引き込まれていきました。第一部では優良組織の創造、組織文化の定義、外部環境の掌握を企業の実名を上げ、かみ砕いてわかりやすく話していただきました。第二部は新時代の経営倫理を組織のバランスを取り経営・運営していくことを図にして解説。最後に独自のLIFOセミナーで参加者全員の潜在的資質を暴かれ、うなずくやら苦笑するやらでこれが後の懇親会でも大いに盛り上がるネタになりました。その後赤レンガに行き、照明家協会のライトアップを見学、和やかに初日を終わりました。



二日目は、斎藤 誠弁護士による、判例を含めた事故と安全作業を法律家の目から講演。

次に二神 光公認会計士による経理・財務管理について明細書を手元に置き、会

計士生活22年を振り返りながらのお話でした。
 ● 午後から財)小野スポーツ体力研究財団の白幡 貞美氏による経営者の健康管理をお年を(失礼)感じさせぬ、熱い講演で午後の眠気を一掃しました。
 ● 最後は地元(株)ウエスの代表取締役小島 紳次郎講師により、全国コンサートツアー事業協会副会長の立場から21世紀の音楽イベント産業の動向を2000年と前年を比較しながら細かく解説、更に今後各協会との連携が欠かせないものと締めさせていただきました。
 ● 組合の皆様、ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

情報コーナー

The BOSS BOOK

音響業界に足を染めるきっかけに、学生時代バンドをやっていたという人も結構多いんじゃないでしょうか。その頃を思い出させるような雑誌が今年の夏にシンコーミュージックからでていました。その名も「The BOSS BOOK」。今でもバンド活動をしている人なら手元に置いているかも知れませんが、簡単に紹介いたします。まずその名の通り、BOSSのエフェクターオンリーの雑誌です。25周年になるそうです。

内容は、生産完了機種を含む全発表機種の完全データベース、写真、機能紹介、スペック解説など。それに伴いコンパクトエフェクター前史&開発史、創始者、開発者へのインタビュー。特別付録にCDで“CD-1”サウンド・ファイル・コンテンツがついています。そしてマニアには涙ものの裏改造情報もあり、具沢山の内容に思わずはまりこんでしまいます。金額は1,714円+税です。一読の価値はあると思います。

編集後記

会報の製作に入る頃は秋風があつという間に走り去り、雪虫がラジオの中心話題になっています。会社のスケジュールボードも空白が目立ち、どこかに出稼ぎにでも行きたいものです。

今年は同時テロ問題で中止や縮小になったイベントもあると聞きます。来年の雪祭りも真駒内会場は開催が危ぶまれています。観光が中心経済の北海道にとってはとっても残念です。

そんな折りですが、会員の皆様の音響機器展への多数のご来場を、お待ちしております。(K)

皆さんの情報を待っています
 どんな内容でもかまいません
 事務局へご一報を

編集委員

編集長 富井 昭次
 ジョーダウン
 編集員 川島 俊彦
 ケイズ・サウンド・クリエイト

